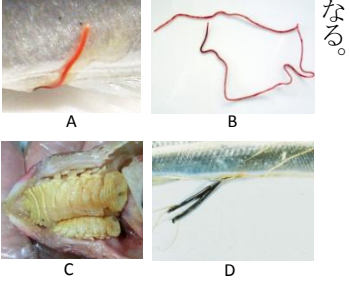


# アニサキスと食品から見つかる寄生虫



**アニサキスの生活史**  
 アニサキスは、本来クジラなどの海獣の体内で成虫になる。この場合、宿主への被害はさほどではないが、本来の宿主ではないヒトの体内に入ると激しい病害を引き起こす。  
 (図:東京都福祉保健局HP(一部改変))

**生活史と中毒症状**  
 アニサキスは、主にサバやサケ、イカなどの魚介類から見出される寄生虫で、寄生を受けたこれらの生物を生食することで中毒が生じる。本来は人体に寄生することはないが、左図のように海洋の食物網の中で宿主を乗り換えながら複雑な生活史を経る。ヒトに感染することがあるのはその幼虫である。  
 アニサキスによる食中毒は、人体内に入った幼虫が胃壁や腸壁に穿孔することで生じ、**食後数時間〜十数時間ほどで激しい腹痛、嘔吐などを起こす急性のもの**が大半である。時に慢性化したり、蕁麻疹などのアレルギーを発症したりすることもある。



**主な魚介類の寄生虫(サイズ・宿主)**  
 A: ラディノリンクス(20〜30mm・サンマ)  
 B: フィロメトroides(400〜500mm・ブリ)  
 C: ウオノエ(10〜50mm・タイ他)  
 D: ヒジキムシ(70mm・サンマ他)  
 (写真:水産食品の寄生虫検査データベース、山口県環境保健センターHP)

**重要なのは予防**  
 アニサキスによる食中毒の治療は、手術や内視鏡により虫体を摘出するしかない。このため、予防が非常に重要となるが、その手段は、生きたアニサキスを口にしないということに尽きる。確実なのは**魚介類の生食を避ける**ことで、**60度で1分以上の加熱、もしくはマイナズ20度で24時間以上の冷凍**でアニサキスを死滅させることができる。塩やワサビ、酢などの調味料は効果がない。また、アニサキスの幼虫は体長20〜30mmと視認が可能なサイズである。それゆえ、調理中、食材に注意して目を凝らすとともに、主な寄生部位である内臓を取り除き、十分に洗浄することも対策となる。

# FUJI E NEWS

June.2017 vol.90

発行所 / 株式会社環境サービス 技術グループ  
 発行人 / 山本幸弘  
 編集人 / 恩田翔太  
 愛知県岩倉市鈴井町中島96番地  
 〒482-0035 ☎ 0587-66-6218  
 ✉ gijyutsubu@fujikankyo.co.jp

## 今月の虫予報 Insect Phase Forecast

虫種	発生状況			
	少			多
ユスリカ				
コナチャタテ				
クロバネキノコバエ				
ヤケヤスデ				
タカラダニ				

ユスリカなど各種の飛来虫や、コナチャタテなどのカビから発生する屋内生息虫は、いずれも発生のピークとなる。クロバネキノコバエおよびヤケヤスデは局地的に大発生することがある。前者は過去に大発生があった地域、後者は新たに造成した土地で、特に降雨後に警戒が必要。タカラダニは先月に比べやや減少するものの、引き続き注意を要する。

## 雨から逃れてくる虫の対策 アウターフレーム

**ねばねばの秘密**  
 ツツジの花の周りは、茎がねばねばの粘液をだす毛に覆われており、それに虫がくっついて死んでいるのがよく見られる。中でも、モチツツジという種ではとりわけこれが顕著である。食虫植物の中には、こうして捕まえた虫を消化し、養分にしてしまふものがあるが、ツツジの場合はそのようなことは行わない。しかし、この粘液は、虫を食べることに勝るとも劣らない、興味深い事情を抱えている。  
 そもそも、ツツジの粘液は花を虫に食害されないためのものだが、粘液に付着した虫がしばらくそのまま残り続けることから、さらなる機能が生じている。すなわち、この粘液を餌場として利用する虫がいるのだ。サシガメやカスミカメムシなどの肉食性カメムシがそれで、長い脚を巧みに使ってねばねばの毛をかいくぐり、逃げられない犠牲者を餌にする。これだけでなく、ツツジが一方的に餌利用されているようだが、サシガメ達は粘液に捕まった虫だけでは腹を満たせないうまく、ツツジの上をうろついては、ツツジを食害する種々の虫をも捕食するという。ねばねばは害虫から身を守るボディガードを呼び寄せ、居着かせる役割も果たすのである。  
 さらに、粘液に付着した虫を食べる一方でツツジ自体も加害する虫がいたり、付着した虫の死骸が最終的に地面に落ち、ツツジの生える土壌の肥やしになる可能性もあつたりなど、実際にはより複雑な事情が絡み合っている。たかがねばねば、されどねばねばなのである。



モチツツジを訪れたサシガメ。満腹し一息ついているところか。

## 防虫用語の基礎知識

**宿主(しゅくしゅ)**  
 寄生する生物の寄生相手となる生物のこと。寄主(きしゅ)、ホスト(Host)ともいい、対義語は、パラサイト(Parasite、寄生者)。寄生者の生活史の中で宿主が変わる場合もしばしばあり、幼体の宿主を中間宿主、成体の宿主を終宿主という。  
 動物に限らず、チョウやガなどの発生源となる草木(食草・食樹)もホストと呼ばれる。貯穀害虫の発生源もホストと表現されることがあるがあくまで寄生(発生)元となる生物を指す語であるため、この用法はあまり正確とはいえない。

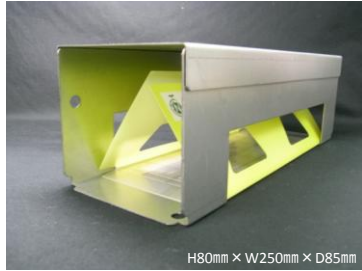
本紙への「意見」ご感想を是非ともお寄せ下さい。発行所宛にメールをくださると、とてもうれしいです。ご意見を取り入れてさせて頂いた方には粗品を進呈します。

# 工場外周囲のモニタリング調査は

# アウターフレームで!

粘着トラップ専用の金属製カバー **アウターフレーム**が、今までできなかった場所でのモニタリング調査を可能にします。

- ①屋外で粘着トラップが風や水で流されることを防ぎます。
- ②特殊素材でできており、錆で建物を汚しません。
- ③トラップを覆い隠し、内部（捕獲虫）が見えにくい構造です。



H80mm × W250mm × D85mm

H型(三角型トラップ用)



H55mm × W250mm × D90mm

L型(台形型トラップ用)

上部フタは  
取り外しが可能

側面および底面の端に2箇所ずつ  
本体固定用の穴が存在



トラップは底面に  
両面テープなどで固定

## 使用素材

### 高耐食性鋼板

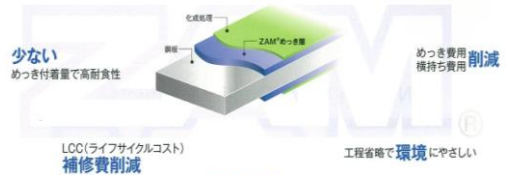
Nisshin Steel Quality Products



亜鉛(Zn)-6%アルミニウム(Al)-3%マグネシウム(Mg)  
のめっき層をもつ新しい溶融メッキ鋼板

長寿命化

後めっきの代替可能



#### ■平坦部の耐食メカニズム

溶解亜鉛めっき

亜鉛めっき層

鋼板

酸化亜鉛主体の白錆

赤錆発生

ZAM

ZAMめっき層

鋼板

Mgを含むZn-Zn-Al系保護被膜

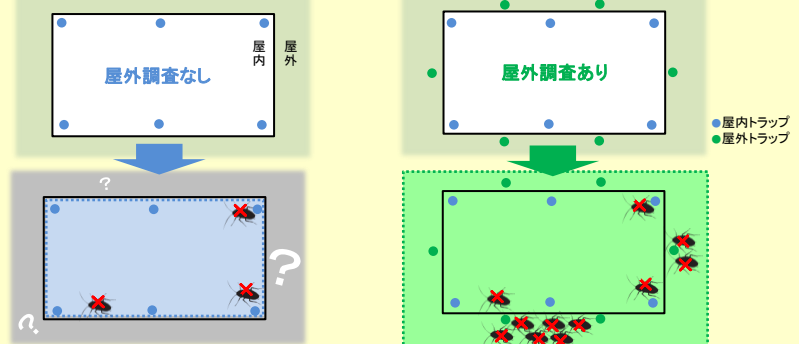
## アウターフレームの捕虫調査方法



- ・屋外のどんな場所にも設置が可能
- ・屋内でもトラップの固定・紛失防止に効果的

## なぜ屋外でのモニタリング調査が必要か？

薬剤処理などの防虫対策は、モニタリング調査の結果に基づいて行います。調査は屋内のみで行われるのが一般的ですが…



屋外の生息状況を把握できず、対策が行き届かない

全ての発生場所が明らかになり、対策が可能

**虫の屋内外における生息状況・対策を打つべき箇所が明確に!**

屋内外でモニタリング調査を行うことで、問題となる虫の対策をより適確に行うことができます

### 【販売元】



株式会社フジ環境サービス



ISO9001 認証・ISO14001 認証/本社にて対応

本社 〒482-0035 愛知県岩倉市鈴井町中島 96 番地 TEL.0587(66)6218 FAX.0587(37)7768

三河 〒442-0886 愛知県豊川市牛久保駅通 5 丁目 19-2 TEL.0533(86)1835 FAX.0533(86)1734

北陸 〒921-8012 石川県金沢市本江町 9 番地 14 号 TEL.076(287)3971 FAX.076(287)3972

サンバード金沢ビル 202 号